

KANAGAWA HOHYUH CLUB
神奈川放友会
Newsletter



Vol. 5 No.3 Jul. 2012
第 19 号

神奈川放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地
ストーク伊勢佐木1番館 501 号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2012年 7月 15日

放友会で夢を語れ

会長 長谷川 武

昨年の放談会開催は、あの未曾有の東日本大震災と福島第一原発事故の発生により中止された。

あれから早くも1年3ヶ月を経て、あらためて震災と原発事故を考える日々が多々あるのではないかと。特に、放射能汚染による生活への影響は大きく、震災への復興への妨げにもなっている。

放友会の皆さんも、原発事故の影響には心を痛めていることと思いますが、「放射線とは」を知る我々の仲間は、何を考えていますか。

震災に対するボランティア活動は必要ですが、殊の外その実行を伴うことが出来ません。自分も被災地へ足を運びましたが、ボランティア活動の実感はありません。多少の食品・ガソリン・飲料水・日用品を差し入れたことと、義援金を送ったことでした。

しかし、原発事故による避難者や放射能汚染による「放射能の風評被害」は、生活への影響を著しく助長しておりますが、未だ積極的な支援行動を起こしておりません。

何か後ろめたさを感じているのです。

それは、診療放射線技師は「放射線とその影響」を知る者であり、放射能を知る専門知識を持ち合わせているので、その知識を活用できないのか試行錯誤するのです。皆様も同様ではないでしょうか。

前々号のニューズレターにも「何か行動をしなければ」と、皆さんにそのアイディアを出し合おうと呼びかけました。

放射線の専門知識をもつ我々が「社会貢献する絶好の機会」と捉えれば、その力が組織として動き出すのではないだろうか。

どんなことでもいい、気楽に仲間の中で語り合ってみませんか。

この課題は、「神奈川放友会には荷が重すぎる」のですが、放射線技師としての知識で、大いに語り合うことは意義があり、出来ると思うのです。

この場を提供するのが、神奈川放友会の活動です。放射線技師の「憩いの館」で、ちょっぴり真面目に意見交換してみませんか。

執行部は身の程をよく理解しておりますので、夢物語を酒の肴にして語り合うのが第一歩です。

神奈川放友会の構成メンバーは「人材が宝」と理解しておりますので、その発掘や活用を生み出したいのです。

若干、矛先を変えて言うならば、高齢化社会の65歳定年や生涯現役を論じる時代、自然災害や原発事故による社会不安、特定看護師制度創設やチーム医療の行政対応、TPP参加による医療社会の変化が押し寄せていることを考慮すると、「生き甲斐の持てる医療社会」を「診療放射線技師職」は真剣に模索すべきと思うのです。

神奈川県医療専門職連合会の多くは地域保健事業として、医療・保健・福祉などの向上への寄与活動をしていますが、連帯感が薄く「生き甲斐の持てる医療社会構築」実現のための行動実態が見えておりません。したがって、現役と退職者の横断的な組織による、広範的活動の必要性を感じるのです。

本会は、県会議員の支援活動にも踏み込み、栄養士会等と活動の場を広げています。

退職者は、現役時代に経験したことを別の視野から学んでおり、更には時間的な余裕の中で考え直す時間を持ち、その中で更なる経験を重ねております。

現役世代と退職者が気楽に集まり「過去を語り、現在を語り、未来を語る」の場が、放友会です。

「放射線技師の“生き甲斐の持てる医療社会”の構築」の夢を描く場にしましょう。

神奈川放友会は、そんな夢を見ながら活動して来ました。今は、「食と放射線」の出版物を、栄養士会の協力を得ながら進めております。

とにかく、放友会に参加して喋ってみましょう。本会は、執行部だけの意見や考えを一方向的に広報するのみではなく、会員の皆さんが発想する話題と一緒に考える「憩いの館で在りたい」のです。

お馴染みの言葉ですが、「一人で見る夢はただの夢、みんなで見る夢は実現する」を願って、皆様からの話題提供を待っております。

平成 24 年度 神奈川放友会総会報告

平成 24 年 4 月 15 日(日)に開催されました平成 24 年度 神奈川放友会 総会の報告をいたします。

当日は、晴天に恵まれました。日本放射線技術学会の最終日であったので、機器の展示会等に寄ってきた会員もあり、有意義に過ごせる総会開催日であったのではないかと思います。

昨年は、東日本大震災により本会総会は書面による総会に変更したため会員の参加する総会は、2 年ぶりです。



総会を始める前に、神奈川放友会 長谷川 武 会長の挨拶、橋口副会長より総会案内を会員 128 名に送付、返信者 95 名 回収率 94%、全員賛成の内容であったことが報告されました。

その後、総会議長に 斉藤 節 を選出し議案の提案、審議が行われました。

平成 23 年度事業・会計報告・監査報告。平成 24 年度事業計画・予算案、追加提案として平成 22 年度に行われたアンケート調査で賛成が得られていた会費徴収と総会の承認を得なくても理事に就任できる件について審議されました。

会費徴収については、今年度 News letter は、A4、8 ページ・モノクロ印刷に統一することで作成費用の軽減を行い、購読料で賄えるめどが立ちましたので会費徴収を行わないことを提案しました。又、理事の選出については総会での承認を得なくても就任していただける提案をしました。

全ての提案事項が出席会員全員の賛成により成立いたしました。会員からの意見として、

- ・ 大井競馬ナイター観戦について
- ・ 神奈川県技師会会長の出席がないことについて

の質問がありました。競馬観戦については、初めての参加者でも楽しめる企画であったことが参加者より報告がありました。

神奈川県技師会会長は、都合があり出席できないことの連絡があったことが報告されました。

その他の報告では、理事の 奥山 清貴 氏が都合により平成 23 年度を持って退任されたことが報告されました。

短時間の中、議長の要点をまとめた運営により引き締まった総会ができましたことを感謝いたします。

昼食をとりながらの「放談会」を開催いたしました。

総会の企画をしてくださった、橋口副会長・村松理事の実行委員を代表して橋口副会長の挨拶、柳生相談役の乾杯の音頭を頂き、始められました。

しばしの歓談時間をとり、出席会員全員から近況報告が行われました。

会員の近況報告は、さすがに先輩達の社会経験豊富な感性で捕らえた社会情勢談、そして技師教育を担っている会員からの放射線技師教育等の現状、技師学校の新設等の話があり、誠に有意義な情報を得ることができました。

又、技師職をリタイアされた会員の社会奉仕、趣味の話も大変参考になる話でした。録音し、皆さんに報告する価値のある内容であったと思えました。残念ながら今回はできませんでした。次回への課題です。

時間の都合で「放談会」を終了いたしました。

最後に、長谷川会長より、平成 24 年度より理事に斉藤 節 氏の推薦があり、了承されました。

斉藤 新理事に置かれましては、新たな目線で「神奈川放友会」活動を牽引していただけることを期待しております。

今年度の総会・放談会は 2 時間の設定で企画されました。会員の近況報告、そして原子力発電所事故による放射線汚染に対する考え方、放射線技師の将来等々・・・

現役の方・退職した方等の立場での意見交換等を企画していましたが、近況報告すら十分にできなかったことを司会者として反省しています。

会員がじっくり話し合える「放談会」だけの企画も必要ではないかと感じました。

報告 早瀬 武雄

出席者

柳生 博	萩原 明	氏家 盛通
斉藤 明	中村 豊	星野 光雄
福田 利雄	野澤 武夫	奥山 康男
斉藤 節	長谷川 武	橋口 邦紘
草柳 伸彦	小松崎 眞一	村松 康久
櫻田 晃	早瀬 武雄	(以上 17 名)

第92回(社)神奈川県放射線技師会総会開催される

来る平成24年3月23日第92回社団法人神奈川県放射線技師会総会が横浜市技能文化会館で行われた。

総会は資格審査後、議長選出で選ばれた金岩清雄氏(予防医学協会)と須藤英明氏(横浜新都市脳神経外科病院)のもと、次の2議案と役員選挙について審議された。

第1号議案 平成24年度事業計画(案)

第2号議案 平成24年度予算(案)

両議案は提案どおり承認された。また、平成24、25年度の社団法人神奈川県放射線技師会役員については、選挙管理委員長より届出があった以下の方々が報告され承認された。

会 長 窪田 宗雄

副会長 上前 忠幸・高橋 喜美

理 事 安部 真・大屋 博宣・伊藤 今日一
山崎 尚人・仙臺 真紀夫・千田 久治
松尾 清邦・岩崎 千代子・大内 幸敏
桂 孝英・田島 隆人・佐藤 英俊

監 事 齊藤 節・早川 俊一・坂本 満

顧 問 草柳 伸彦(地域放射線技師連絡協議会
会長)

事業計画については、窪田会長から重点項目として、①老朽化した事務所整備 ②厳しい財政の検討 ③公益法人格取得が挙げられ了承された。このほか、入会の促進や放友会の協力による福島原発事故に伴う自然放射線測定事業の継続も挙げられ、いずれも了承された。また、各委員会の人事についても、前期とほぼ同じ方針と報告され了承された。



第93回(社)神奈川県放射線技師会総会開催報告

平成24年5月25日、横浜技能文化会館8階大会議室において、第93回神奈川県放射線技師会総会が開催された。

開催に当たり、4名の物故者に黙とうがささげられた。次第に沿って会長挨拶から会が始まった。次いで、表彰があった。神奈川県放射線技師会永年表彰(勤続20年)は、該当者15名の紹介と代表挨拶として渡辺幸雄氏が、また感謝状贈呈では坂野建治氏、泉和弥氏の両名が紹介され、坂野氏が代表して挨拶を行った。表彰の最後に、サーベイヤー活動表彰7名の紹介があり、代表として濱田順爾氏より挨拶があった。

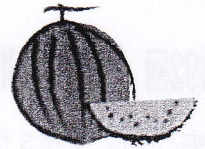
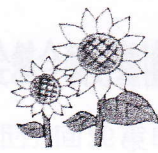
続いて、3名の総会運営委員が紹介され、資格審査報告が行われた。総会出席者は46名、委任状は591名で合計637名であり、過半数の484名を超えたため総会成立が宣言された。

議案審議に移り、第1号議案では現定款第4条の8項目に沿った方向で運営を行ってきたことが説明された。しかし、事務所移転に関しては適当な物件が見つからず、遅々として進んでいない旨報告がされた。また、財政的にも現在大変厳しい状況であることが説明された。第2号議案では仙臺財務理事により平成23年度決算報告がなされた。第3号議案として、監査報告が齊藤節氏よりあり、適切であった旨の報告がなされ、議案すべて提案どおり承認され、その他の議事もなく、議事は滞りなく終了となった。

閉会の挨拶は上前副会長により行われ、無事閉会となった。いつも思うことであるが、1,500名会員のうち当日出席者は46名、これは約3.1%の出席率であり、またどう見てもその大半は役員、委員が占めている状況で、一般会員の出席はいったい何名なのだろうか。また、毎回委任状集めが大変なようで何ともさびしいものを感じえないし、この状況が適正な総会の開催と言うことになるのか大変心配な限りである。最近退会者や未入会者が多いと言う話もあったが、私の周りでも県技師会の退会者は少なくない。理事諸氏のご苦勞は大変と思うが、それが一人でも多くの会員の獲得といった問題と結びついているとは思えない状況であり、大変危惧を感じさせる総会であったような感じがしたのは、私だけだろうか。

シリーズ4

夏の季節



“閑(しずか)さや岩にしみ入る蝉の声、
と申します。懐かしい夏の記憶を
写真と共に辿って見ました。

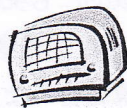


◇水芭蕉 (夏の思い出)

“夏が来れば思い出す”の歌い出しでNHKラジオのラジオ歌謡で生まれたのが“夏の思い出”だ。以来いまでも歌い継がれているのは当時を思い出させてくれる名曲だから。尾瀬に咲いた水芭蕉等を描いた歌詞である。テレビもなかった時代だった。1949年(昭和24年)6月石井好子の歌で放送されてから人々の心を捕まえた。レコード発売されなかったため音源は残っていない。1954年藤山一郎によりレコード化された。本来、水芭蕉は春の花である。



咲いた花は夏まで見ることができ、その大きさは1m位になると言うから荘厳さを感じる。昭和24年と言うと私が6才の時だ。茨城県行方郡(現・行方市)に住んでいた時のことだ。今でもはっきり記憶している。

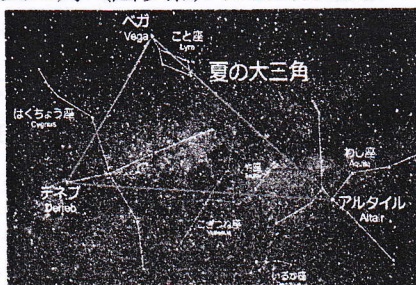


◇遊泳

またかんかん照りの昼、はじめて遊泳をしたのが霞ヶ浦だった。水中は透明度が良く藻が漂っている映像はいまでもはっきり記憶している。現在霞ヶ浦は汚れてしまっております。最近自然な湖に戻す大きな運動が起こっている。

◇星座

夏の夜空に輝く星座は、はくちょう座、こと座、カシオペア座、ケフェウス座、蠍座、大熊座、小熊座が代表する星座だ。夏を象徴しているのは真上の星空だ。中でも夏の大三角(図参照)はよく知られております。当時天体に興味があり、星座や星雲の本を見たり天体の新聞特集が載っているときよく見ていた。



◇海水浴

15才のときから東京暮らしであった。湘南海岸への海水浴は夏の楽しみであった。何と言っても海中の素晴らしさだ。魚をもりで突いた。海中の岩場に生える海草等は陸上の風景とは違った映像で虜になってしまった。なんと美しいのか!この感動をなんとか写真に残せないか?と思い、カメラに手作りの防水加工をして(当時水中カメラが発売されてなかった。本格的な水中カメラなど手に入る訳が無い)撮影した。ピントがうまくいかず失敗した記憶がある。



観音崎灯台

当時観音崎と湘南海岸で風景を撮影した写真を出して見た。ピントがぼけて色あせていた。それをスキャナーでパソコンに取り込み画像処理を試みた。何とも思いも依らない写真になった。以下に掲載する。今の画像処理技術に驚いた。



観音崎海水浴場

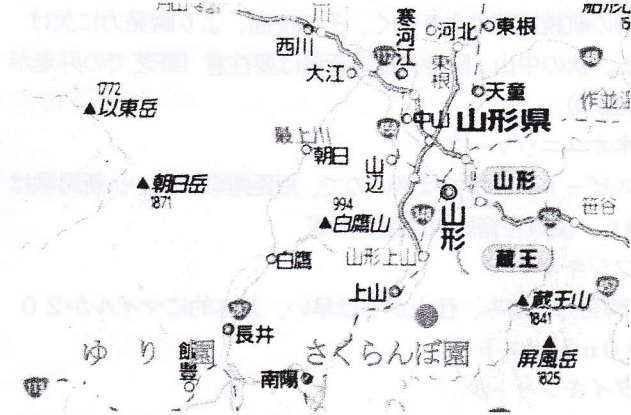


三浦半島秋谷海水浴場

いずれも昭和39年撮影

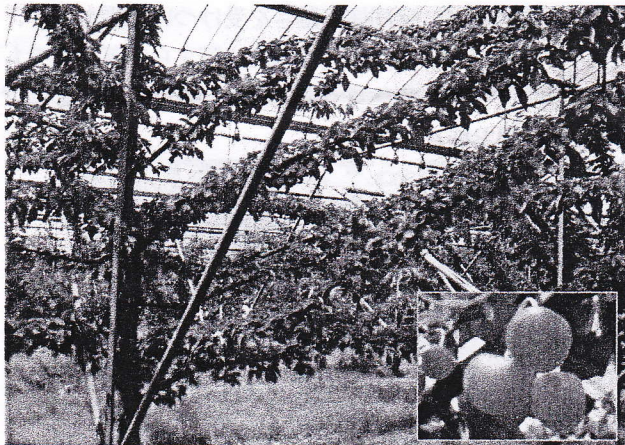
◇旅行

平成 10 年 7 月山形県に旅をしました。サクランボ園、蔵王山、上の山温泉、ゆり園などを廻った 1 泊 2 日の夏旅でした。この思い出は記憶に新しい。



山形市近辺

山形市と上ノ山市に 20 代当時の友人が住んでおります。40 年余り経つ今でも友好を保っております。友人は会社経営をしながらさくらんぼ作りに力を入れております。木になっているサクランボは初めて。



サクランボ園

蔵王山に登った。コマクサに出会って“ぱちり”と 1 枚撮影しました。コマクサは漢字で駒草と書くそうです。花の形が馬(駒)の顔に似ている事に由来するのです(写真では良く確認できませんが!)他の植物が生育出来ないような厳しい環境に生育する事から高山植物の



女王と呼ばれています。夏の蔵王山お釜を背景に!

山形県飯豊町(いいで)のゆり園は今が盛りと咲き誇っていました。この景観にしばし見とれた。東日本最大のゆり園、花の見頃は 6~7 月頃。ゆりが現れるのは 712 年の古事記が最初と言われている日本の多くの場所で自生している。品種はオリエンタルハイブリット系としてマルコポーロ、アカプルコ、スターゲイザーなどだ。スカシオ系としてモントルー、サンセール、コネチカットキングで。ゆりの花言葉は白花のユリ・清らかで汚れなき・魅惑なひととき、黄花のユリ・真実ではない・喜び楽しみ、テッポウユリ・心に汚れなく清らか、ヤマユリ・おごそかな美、スカシユリ・飾らぬ美、オニユリ・強く激しい・富と誇り。



どんでん平ゆり園風景

◇印象

都会では夜空を見ても全天がまわりの明かりで星がよく見えない、なるべく明かりを減らせないでしょうか。湖は汚染していればきれいに出来ませんか。植物が減って温暖化が進んでいると言うのです。この旅行で見た風景はみどり色に包まれた世界でした。美しい自然も沢山あります。悪い所ばかり見るのではなく良い環境や現代社会には人間の英知が作り挙げた文明があります。長所を伸ばして欠点を改善することを地道に行う必要を感じます。

※参考資料=百科事典「ウィキペディア」

どんでん平ゆり園ホームページ

*今まで四季のシリーズとして掲載してきましたがこれで完結いたします。

- シリーズ 1 静かな秋 (実りの秋) Vol.1 No.4
- シリーズ 2 春のおとずれ! Vol.2 No.2
- シリーズ 3 冬の検診と運動 Vol.4 No.1
- シリーズ 4 夏の季節 Vol.5 No.3

小松崎 真一

競馬予想の基本 その2「血統」

副会長 橋口邦紘

3.「血統」について

サラブレッドはその血統の特徴を巧く引き出そうという考えの下でつくられているので、人間より顕著に特徴が現れます。父からは、筋肉、骨格などが、母からは、気性、心肺機能、などが伝わります。

現役時代に活躍したサラブレッドの血は脈々と子孫に受け継がれ、その産駒、その又産駒が活躍していくごとに、その血統評価は上がっていきます。(スピードをよく遺伝する血統、底力を遺伝する血統、ダート向き、芝向きなど)生産者も種牡馬と繁殖牝馬の血統を吟味し、相性のよさそうな同士を配合して又新たなサラブレッドを世に出します。)これこそ競馬が「ブラッドスポーツ」といわれる所以です。血統というと、とかく種牡馬を重要視しますが、これは生産に送り出す産駒の数が絶対的に多いからで故に産駒成績の統計が取り易いからです。生産上の価値観からすると、競走馬の血統は繁殖牝馬をもって語らなければいけません。「競馬は女系社会」だからです。特に日本の競馬を革命的に変えた種牡馬「サンデーサイレンス」が続々と優秀な産駒を輩出している時、サンデーの子供を買えば絶対儲かると言われた時期がありましたが、あの「ディープインパクト」を輩出して世を去りました。サンデー産駒の種牡馬にどれだけ良質牝馬を奪われたことでしょうか。この先日本競馬が世界と互角に戦うためには、如何に良質牝馬(サンデーの血が薄い)を世界中から探せるかにかかっているといえるのではないのでしょうか。

これは日本だけに限った事では無く、今世界中のホースマンが良質牝馬を求めて争奪戦を繰り広げています。これらの事から日本競走馬の血統を論じる時は、サンデー産駒が活躍を始めた時期を挟んで前後の種牡馬の特徴を掴んでおけば、競馬が一段と奥深く感じられる事と思います。血統を考える時、出走馬の右上に父名、左上は母、右下が母父となっていますので参考にして下さい。馴染みの馬名にたくさん出会います。

■サンデーサイレンス系

・アグネスタキオン

瞬発力に優れ、基本的にスローペースに強く、直線の長いコースに向いている。距離の融通性は広い。ダートは時計の出る軽い馬場が合っている。

・アドマイヤベガ

持続力に富み、ハイペースや高速決着に強いが、基本的にダートは不得手。

・ステイゴールド

タフで高齢まで活躍。基本的に芝向き、芝の道悪も強い。現在最も期待されている種牡馬、産駒に三冠馬「オルフェイヴル」を輩出。

・スペシャルウィーク

タフだが基本的に直線が平坦のコース向き、大舞台に弱く重賞ダート戦は消し。

・ダンスインザダーク

脚の航続距離はより長く、その反面、より瞬発力に欠ける。秋の中山、阪神、夏の新潟は要注意(野芝での好走が目立つ)

・ネオユニヴァース

スピードタイプでは無いので、短距離戦は弱い。新馬戦は強く、関東在籍馬の活躍が顕著

・フジキセキ

瞬発力に富み、仕上がりは早い、基本的にマイルか2000mがベスト

・タイキシャトル

サンデーの血を受け継ぐ平均的優等生。長距離を除けば、距離面、芝、ダート、ローテーション、馬場状態は問わず。毎年一定の好成績を残している、芝1200mの新馬戦はお勧め。

・ディープインパクト

ご存知サンデーの最高傑作。産駒の数も多く、新馬戦でこれほど好成績を出し、既に重賞、G1クラスにまで多数勝鞍を輩出した種牡馬はいまだかつて見つからない。芝、ダートは問わないが、父同様気難さを受けつた馬も多く、パドックで暴れている。産駒は国内に留まらず英、仏でも実績を出している。馬体重も軽いのもいれば、母の影響で500kg近いものと様々。



—平成24年 日本ダービーより—

■ロベルト系

・グラスワンダー

芝、ダートは問わない。持続力勝負に強い(瞬発力勝負や高速馬場は苦手)。新馬戦は2着まで。休み明けは苦戦する。

・シンボリクリスエス

キャリアがまだ浅い種牡馬だが、産駒の出走数は今やトップクラス。芝、ダート兼用、瞬発力に欠けるが、脚の持続力で勝負。芝、ダートの成績が見事に拮抗している。

・タニノギムレット

芝、ダート兼用。非凡な瞬発力が武器。代表産駒にウオッカ。連闘、中1週でも苦にしない。

■ミスプロ系

・アグネスデジタル

芝平坦コース向き。瞬発力、持続力は有り。馬券の妙味が有る。

・アフリート

種牡馬暦20年以上。近年はダート専従。距離や馬場は不問。高齢まで力が落ちない。

・キングカメハメハ

新種牡馬、芝、ダート不問、芝では関東馬、ダートでは関西馬が強い。産駒の1年目の成績は振るわなかったが、2年目からは至って順調注目すべき種牡馬の1頭。

・フォーティナイナー

07年をもって種牡馬生活を引退したが、彼から発生した血は、アメリカ、日本はもちろん、南米、欧州、オセアニアまで栄え始めている。

■ノーザンテースト系

・オペラハウス

高齢まで走れ、長距離戦は得意。代表産駒、テイムオペラオー、メイショウサムソン。

・クロフネ

現役時代は芝、ダートでもG1を制した数少ない名馬だが、産駒は父同様に芝、ダートを1頭でこなす馬は今のところいない。馬力の要るダートは意外と苦戦。特に夏のダート戦は成績が落ちる。クロフネの産駒新馬は、ダートで買えと巷で評判。

・フレンチデピュティ

08年G13勝の名血統。芝、ダート不問。早熟でかつ息が長い。代表産駒、クロフネ、ピンクカメオ、レジネッタ、アドマイヤジュピタ。

・ホワイトマズル

現役時代はジャパンカップにも出走したイタリアダービー馬。凱旋門賞2着。地味ながらコンスタントにA級馬を輩出し、馬券的妙味も高い種牡馬。

■ナスルーラー系

・サクラバクシンオー

芝、ダート、基本は短距離、仕上がり早く、高齢まで走れる。新馬戦の短距離に好成績を残すが、小倉、新潟などのローカルに活躍する。とにかく、ローカル短距離戦の帝王、と呼ばれている。

・ジャングルポケット

距離の守備範囲が広く、高速馬場よりも馬力のいる馬場、そしてハイペースの戦いで台頭してくる。芝戦で1枠1番の最内枠を引いた時の人気馬成績は低いが、ダートではこの傾向はみられない。代表産駒、トールポピー、オウケンブルースリ、フサイチホウオー。

・ボストンハーバー

短距離指向が顕著になってきた。芝、ダート兼用で、同じ馬が両方こなす。ケースが多い、新潟、阪神コースの成績は悪い。

まだまだ注目すべき、牡馬、牝馬はたくさんいます。特に、ここ2~3年に引退した名馬が繁殖に入りました。ディーブインパクトは勿論、ハーツクライ、アドマイヤムーン、ウオツッカ、等の子供達が新馬戦に出てきたら注目して下さい。

勿論、全馬が父、母のように好成績を収めるわけではありま

せん。相手関係、体調の変化に左右されるでしょうが、これらの中から将来のG1馬にと期待するのも楽しみ方の1つではないでしょうか。

パドックでの馬の精神状態、馬体重の変化、脚の運び方をじっくり観察してください。

先に血統で述べましたベテラン種牡馬と組み合わせで推理して下さい、これは新馬戦以外のレースにも応用します。候補が多すぎて絞りきれない時は非常に役立ちます。種牡馬の特性を思い出して下さい。

最後に「競馬予想の基本」は小生の定年退職後7年間の経験をまとめたものです。当初は専門紙を100%信じて組み合わせを考えていましたが、的中するのは稀でした。競馬暦20~30年のベテラントラックマン推奨レースが悉く外れ「競馬は走ってみなけりゃわからない」と自嘲ぎみになりましたが、ある時専門紙の予想を全く無視して自分の直感だけの予想が意外と的中したのです。

それは、Radioの解説者のパドック診断、血統による推理、展開の予想を取り入れたからです。この日から予想は先ず自分で立て、専門紙は参考書程度と決意し少しずつ系統立ててまとめたものが「競馬予想の基本」です。

現在小生は競馬に週4日費やします。金曜日に専門紙を買い競馬専門チャンネル「グリーンチャンネル、明日のレース分析」を元に土曜日の予想を立て、土曜日は同様に「競馬コンセルジュ」を参考にして「伊勢崎町エクセル」で友人S氏と5Fの指定席でのた打ち回っています。新聞は捨てないで持ち帰り、月、火曜日の「先週の結果分析」で復習です。此れくらい時間と、労力をかけると負けがだんだん少なくなり、時には来週の資金がポケットでバサバサ、チャラチャラ、と歩くたびに無上の音を奏でる様になります。

ですから、競馬は年寄りの娯楽、趣味の1つと思うに至りました、決して若い現役の方が入れ込んではいけません、人も、馬も入れ込んではいけません。時に暇を見つけて、重賞、G1レースに少額賭けて楽しんではどうでしょうかその時この「競馬予想の基本」が役に立つと思います。

若い人は焦る事はありません。ここ数年で世界の競馬は様変わりするでしょう。それはサラブレットの発祥はアラブからとの自負の下、オイルマネーを競馬産業に注ぎ始めたからです。現にカタールでは1000億円の投資で生産牧場を建設。世界中の名だたる現役牡馬、牝馬を手に入れようと躍起になっています。

なにせ中国は汗血馬を生み出した国ですから、何時競馬大国になっても不思議ではありません、遠からずマカオに流れているお金が競馬に注ぎ込まれると予測され、日本はおろか世界の脅威になる事でしょう。ルーレットより競馬が絶対に面白いから、「競馬は地上最大のスポーツ、難解な推理ゲーム」だからです。今、日本の小規模生産者は危機に瀕し、廃業、統合に追い込まれています、無論オイルマネーも注ぎ込まれています。どうか現役の皆様、100円でも200円でも時々馬券を買って下さい。日本競馬産業の危機ですから。

みんなの広場

■神奈川放友会 平成 24 年度 イベントのお知らせ

～中山競馬場で熱い戦いを～

日時：9月9日(日) am7:30 東京駅 武蔵野線乗り場必着
東京駅でJR武蔵野線快速府中本町行に乗車
東京駅 7:42 発
↓(8 駅 30 分乗車)
船橋法典駅 8:12 着

※船橋法典駅より競馬場まで徒歩 15 分

参加費：3,000 円(入場券、座席指定券含む)

(当日競馬場入り口で徴収します)

- ・会員以外でも参加は自由、雨天決行です。
- ・参加申し込みは、☎045-783-9454 橋口まで
(初心者の方には、解説書送付と当日指導付です。)

■放友会支援図書出版 第1号 残りわずか！

神奈川放友会は、会員の著述による図書出版企画に全面的に支援協力をしていますが、その第1号として昨年5月に出版された「医療体制への鼓動」が残り少なくなっています。

医療体制への鼓動

= 検診に携わった技師の記録 =

石渡 良徳 著

Editor: Ichikawa



神奈川放友会

著者 石渡 良徳 (診療放射線技師)
 サイズ A5 版 278 ページ
 発行日 2010 年 5 月 21 日
 発行所 神奈川放友会
 価格 1,200 円

医療体制への鼓動

検診に携わった技師の記録

石渡 良徳 著

神奈川放友会

本書は、副題にもあるとおり、著者が日本消化器がん検診学会認定の「胃がん検診専門技師」の誕生と、それが「がん対策基本法」に明記されるに至るまでの道程を、「検診の精度管理」等を主眼に、検診学会等で改善に取り組んだ足跡を、自分史を入れながら 40 年間の記録としてリアルにまとめ挙げたものです。

放射線検診業務に携わっている技師のみならず、多くの診療放射線技師諸兄にとっても大変参考になる内容ですので、ぜひこの機会にご購入いただきますようご案内申し上げます。

ご購入のお申込みは、下記事務所までご連絡下さい。

【お申し込み先】

神奈川放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町 4 丁目 9-8

ストーク伊勢木 1 番館 501 号室

神奈川県放射線技師会事務所内

電話:045-681-7573 FAX:045-681-7578

※恐れ入りますが、郵送料については、ご負担をお願いいたします。

■ニュートリノ「光より速い」は撤回

素粒子のニュートリノが光より速く飛ぶとの実験結果を昨年9月に報告した名古屋大などの国際研究チーム「OPERA」は、測定精度を高めた今年5月の再実験の結果、ニュートリノの速度は光速と誤差の範囲で同じだったとして、「超光速」の当初報告を撤回した。京都市で開催中のニュートリノ・宇宙物理国際会議で正式に発表した。

発表によると、GPS (衛星利用測位システム) で時刻を合わせた時計を、ニュートリノの発射側と到着側に設置したが、到着側の地上と地下の時計をつなぐ光ケーブルの接続部に 1.5 ミリの隙間があり、接続不良による測定ミスが原因と判明したという。会見した名古屋大の小松雅宏准教授 (素粒子物理学) は、「ケーブルの取り付けを間違えた可能性がある。チェック不足だった」と釈明した。

[編集後記]

福島第一原発 1 号機で、今月下旬に格納容器下にある圧力抑制室付近の放射線量を計ったところ、毎時 10Sv を超える放射線量が測定されたと報じられていた。今後廃炉に向けた作業への影響が懸念されるという。

予測されたこととはいえ、現場での作業の困難さは想像に難くない。このような報道を見聞きするにつけ、改めて原発のおそろしさを思い知らされる今日この頃である。